

## 仲田本通商店街振興組合(名古屋市千種区) 【代表者:理事長 渡辺広志】

### キャッチフレーズ

一店一店が光り輝く街

### 活性化モデル商店街としてのモデル性

一店逸品運動に取り組み、逸品情報はじめ個店・商店街・街の魅力を多角的に発信することで、街全体の魅力向上を目指す生活支援型商店街

### 商店街の将来ビジョン

仲田本通商店街は市内有数の繁華街である今池・池下からほど近く、背後には多くの住宅や事業所を抱え、特に最近は公営住宅の改築などにより周辺の人口が増加傾向にあり、大幅に増加し、新しい街として姿を変えている。また、東市民病院、グルメショップが並ぶナゴヤセントラルガーデン、桜並木で有名な水道みち緑道などの地域資源に恵まれているものの、商店街の認知度は高いとは言えず、存在のアピールと集客力のアップが課題となっている。

この状況を踏まえ、一店逸品運動などにより、一店一店の個性が光る魅力にあふれた商店街づくりを推進し、多くを集客し商店街に活気を生み出すことによって、住みたくなる街として地域全体の魅力も高めていく。

#### 1 一店逸品運動による魅力ある商店街づくり

個性や魅力のある商品またはサービスを開発する一店逸品運動に取り組み、また、商店街ロゴマークを活用した商店街共通のグッズを開発することにより、魅力ある商店街づくりを推進する。

#### 2 個店の魅力や商店街情報の多角的発信

一店逸品運動と連動して、逸品のPRはじめ情報の多角的な発信に取り組む。近隣のあいち造形デザイン専門学校と連携して商店街マップを毎年度作成するほか、携帯電話を使ったメールマガジンにより、個店や商店街、街の魅力を発信していく。また、商品やサービスをPRするイーゼル(自立式の広告看板)を各店頭に設置し、個性ある商店街として存在感をアピールする。こうした情報発信に取り組むことより、一店一店がさらに個性と魅力に磨きをかけ、商店街の魅力を一層高めていく。

### 具体的に取組む事業内容

#### 一店逸品運動(20年度～22年度)

オリジナル性があり、優れた商品やサービスを開発する一店逸品運動、商店街ロゴマークを活用した商店街グッズの開発に取り組む。

#### メールマガジンなど各種ツールを使った情報の発信(20年度～22年度)

携帯電話によるメールマガジン、商店街マップ、イーゼルといった多種多様なツールを使い、一店逸品情報はじめ個店の魅力や商店街情報を多角的に発信する。

#### 花いっぱい運動(20年度～22年度)

商店街沿道に四季の草花を定期的に植栽し、歩いて楽しい快適な環境づくりに取り組む。